

7. 整備効果

○費用対効果

路線名	高速横浜環状南線（圏央道「金沢～戸塚」）
延長	L = 8.9 km

□便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成16年度			
基準年における 現在価値（B）	7,902 億円	317 億円	135 億円	8,354 億円

□費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	4,142 億円	732 億円	4,875 億円
基準年における 現在価値（C）	3,450 億円	265 億円	3,715 億円

□算定結果

費用便益比（CBR）			
B/C =	$\frac{\text{便益の現在価値の合計（B）}}{\text{費用の現在価値の合計（C）}}$	=	$\frac{8,354 \text{ 億円}}{3,715 \text{ 億円}}$
=	2.2		

- 注） 1. 費用及び便益額は整数止とする。
 2. 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。
 3. 平成24年度を完成供用予定として算出している。